

④ 差別を許さない人の存在を示す！

いや、それは違う！

差別の現状を知り、差別をなくす取組を進めていくには、被差別当事者の声や思いをきちんと聴くことは欠かせない。でも、差別をなくす取組の先頭に立たせてはいけない！



2016年に施行された「部落差別解消推進法」「障害者差別解消法」「ヘイトスピーチ解消法」にも、『差別は、する側の問題であり、する側が変わっていけばなくなる』ことが示されたの。つまり、差別をなくすために行動していくのは…
わたしたちなのよ…

地図検索サイトで駅名に「部落」と表示されていることを発見し、すぐに指摘し、訂正を要請した。



新型コロナウイルス感染症のクラスターが起きた施設の周囲に、「がんばれ」と書いた激励の旗を立てた。



ヘイトスピーチに対する抗議活動を行なった。



わたしたちの回りには、差別をなくすために行動する人が、たくさんいるのよ。

もし、差別をする人がいたとしても、それを許さないと行動できる人がたくさんいれば、差別はなくしていけると思うわ。



差別をなくす仲間を増やしていくことが大切なんだね。差別に気づいた人が声を上げる、被差別当事者から声が上がったら、一緒に差別をなくすために行動する。

自分もそういう行動ができる人になりたい！